

那賀川水系大規模氾濫減災協議会 平成31年4月 取組状況

■ 取組

2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

(2) 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する事項

① 想定最大規模降雨による洪水を対象とした避難勧告に着目したタイムラインの作成及び改定

【四国地整】

那賀川河川事務所では、所内職員等を対象とした洪水対応演習を、平成31年4月23日に実施しました。

演習では、洪水タイムラインを基に、那賀川の新庄観測所の水位が氾濫危険水位を超えることを想定して、洪水時の水位予測や、气象台との洪水予報の共同発表、水防警報の発令等、各段階における職員の役割や、実施すべき行動について確認を行いました。

また、演習後には、今後の出水対応に活かすために、問題点を出し合い、担当で課題や対応策について共有を行いました。

今回のような本番を想定した演習を行うことにより、各職員の行動を確認することで、実際の出水時には迅速かつ適切な行動ができるようになると思います。



写真-1 災害対策支部全景



写真-2 被害情報収集の様子



写真-3 災害対策支部の様子